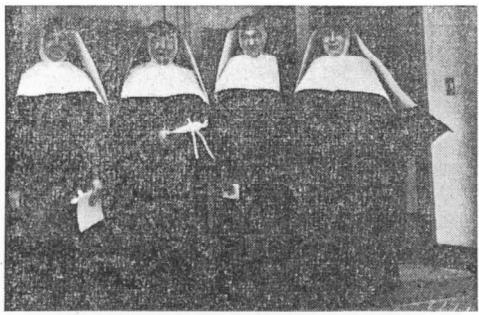




# ノートルダム会総長

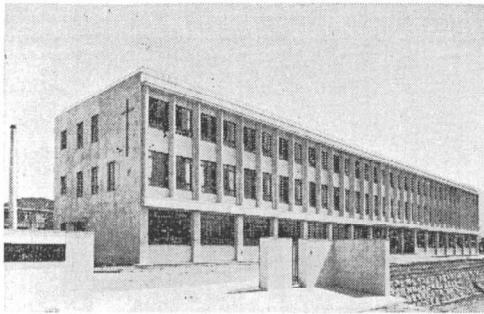
## 京都訪問

同会の本部はローマにあり全世界に二十の管区を持ち、その中の五管区は米国にある。始めて京都教区に派遣されたのはその中の一つ（当時は四管区）ミズリームセントルイスに本部を有する管区で、一九四八年來日後、京都に於て一九五二年に女子中学校、一九五四年に小学校、一九六一年に女子大学を創立して現在に至る。（女子大学全貌）



ノートルダム教育修道女会総長マザーメリー・アムブロジアは本部付シスター・メリーレベッカを帶同、六月三日ローマの本部を出發途中ゲアム、沖縄を視察して六月十七日来日。二週間の滞在期間中、同修道会の事業を視察され、将来への抱負と希望を新たにして七月一日北極廻りで羽田空港より離日され（向って左より二人目が総長）。

## 新築完成した聖嬰会



六月二十四日奈良市法蓮町「善きサマリ亞人修道院」にて桂教会助任岡神父指導同会シスター達のお世話により黙想会を開催し多大な靈的収穫を得る事ができたのは会員一同の大きな喜びであった。参加したレジオマリエ会奈良すべての聖寵の仲介者に在す

母子課長右城孝氏の他、司祭、修道女、一般信者等約二百名が参列した。聖嬰会は一八八六年幼きイエス会の修道女により女子児童の為に始められた社会施設で、今迄は河原下に



町三条の信愛幼稚園と同居していたもので、土地環境の為に移転を考えていたものであるが、此の程カトリック会の敷地の一部を譲り受けた事が出来、国内外多数の人々の援助を仰ぎ上田建設の工事によって新しく立派な施設が出来上った。敷地は二千九百坪、建坪延四百二十四坪で

現在同施設には院長メール・マリ・マダレヌを始め、スール七名、マリ職員四名が仕事に当たり、收容兒童は五十四名である。（一才六ヶ月—七才迄）

その内訳は幼兒九名、小学生二十七名、中學生十八名で新しく立派な別天

地で皆仲良く快活な生活を送つてゐる。今後も教区の人々の援助と激励を望む次第である。（写真は古屋司教様の祝別）



## 子羊会の黙想会

（写真は聖嬰会の全貌）

五月二十日、私達子羊会（ティファニー師、シスター・エリス指導）の黙想会が、美しいみどりと静寂につづまれた売布（めふ）の御受難会「默

想家」で行われ、この聖域の中で感動的な一日を過した。遠くは舞鶴、彦根から朝早く参集した子羊と、動けない子羊をお世話を下さるレジオ会員を入れた一行七十九人が快晴の京都を八時半出発。バスの中では、始めて純黙想会に与る書が配られた。

## 天の元后

我等のために祈り給え。

八月十五日はマリア様が地上を去り、天国の光榮にお入りになられたことを記念する祝日で、今月の「ハイライト」とも云うべき日である。無原罪なるマリア様の靈魂が永遠の生命の甘美さを始めて味あわれた時から、マリア様は肉眼を以て、神のお顔を御覧になつておられた。

御託身された神の御言葉によれば、此の世に於て立派な生活を送ったすべての人々には公審判の後、永遠の生命が与えられるのである。此の祝日に於て我々の中から一人の方、即ちマリア様が我々の先がけとして約束された報いを受け、既に靈魂と肉身を以つて天国に行かれたことを信仰の目を以つて見る時、来世の幸福に対する我々の希望は一層強められるのである。

天にあげられし元后

我等の為に祈り給え。

## MEDITATION OF THE MONTH

### O QUEEN ASSUMED INTO HEAVEN, PRAY FOR US.

The 15th of August marks the highlight of the month for on this day we commemorate our Lady's departure from earth and celebrate Her entrance into glory. Her bodily eyes beheld the Divine Countenance at the very instant Her immaculate Soul began to taste the sweetness of eternal life.

We have heard from the lips of God—Incarnate that after the Last Judgment eternal life belongs to the whole man who has earned it at the price of a good life. Our hope in the possession of the hereafter is thereby all the more strengthened for we have seen with eyes of faith One from among us already gone before us with both body and soul to receive the reward so promised.

### "O QUEEN ASSUMED INTO HEAVEN, PRAY FOR US."

御託身された神の御言葉によれば、此の世に於て立派な生活を送ったすべての人々には公審判の後、永遠の生命が与えられるのである。此の祝日に於て我々の中から一人の方、即ちマリア様が我々の先がけとして約束された報いを受け、既に靈魂と肉身を以つて天国に行かれたことを信仰の目を以つて見る時、来世の幸福に対する我々の希望は一層強められるのである。

天にあげられし元后

我等の為に祈り給え。

まもなく院長様のおささげになる御ミサから黙想会が始まり、天主様の愛と御憐みについて熱をこめてお話し下さる神父様の御言葉は心にビンとひびいてくる。生れて始めて世界の騒音からはなれてしまふまで祈り、自分の弱さ、貧しさ、みじめが出来た喜びは何ものにも比較できない大きなお恵みであつた。

神父様は二回のお説教の中、祈によって誘惑に不克つ事。「己を捨て己が十字架をとりて我に従え」の御言葉を解いて聖旨に完全に従う事。それによって神の証人になる事ができる事。凡ての出来事はそれが天主様からきたものだと考え与えられた生活をすれば聖人になる事が出来ると言えられた。

有意義な一日はたちまち過ぎ私達は神父様の祝福と美しい御絵に併せてしまふに幸せな靈的お土産をいたただき、四時過ぎ黙想会は幕を閉じた。私達小羊は今も尚この日の感激を忘れず日々の靈的糧としている。



